

会議名	第8回新城地域協議会		公開
日時	令和6年9月3日(火) 午後7時00分～午後8時30分	場所	市役所本庁舎 4階会議室
出席者	(委員) 権田康之、西尾泰昭、坂部岳、清水利高、今泉澄夫、佐本達俊、丸山哲也、中川享子、高木猛至、今泉克英、松井利文、小栗健次、鈴木雅晴、白柳明美、安形元成、今泉光俊、福本克司、沼田宣、畠山恵美子		
	(事務局) 市民自治推進課：杉本参事 新城自治振興事務所：今泉所長、藤本主事		
欠席者	坂巻克彦、矢賀美紀代、大瀧章義、今泉栄	傍聴者	なし
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・資料1 令和7年度新城地域自治区予算事業計画(案)</li> <li>・資料2 新城地域協議会だより(第53号)(案)</li> <li>・資料3 地域自治区予算関連事項(団体)について</li> </ul>		

### 議題・議事・発言等(要点記録)

<p><b>1 開会</b> 委員23名中19名の出席により会議成立の報告、及び会議録署名委員の指名(丸山哲也委員、中川享子委員、高木猛至委員)</p> <p><b>2 議事</b> <b>(1) 地域自治区予算関連事項(団体)について</b> しんしろまちなか散策推進事業、子育てに関する事業、防災に関する事業、それぞれ地域自治区予算事業の遂行にあたり関わる団体について、今後どのように組織化していくか、あり方はどうあるべき等の話し合いをした。</p> <p><b>&lt;A(高齢者にやさしいまちなか・いつもにぎわうまちなか)グループ&gt;</b> はっきりまとまっていないが、まちなか散策を考える会について、地域計画上のにぎわい創出をどう実現するか考える中で、目的や主旨がはっきりしないまま進んできた。そういう意味では、今まで散策マップや看板を作成したが、この会で何を考えていくのかも一度はっきり考える必要がある。については、地域協議会のメンバーも入って再構築していく。</p> <p><b>&lt;C(安全で安心して暮らせるまちなか)グループ意見&gt;</b> 以下6点について話し合った。(○は意見)</p> <p>1：専門部会役員をどのように設定するか ○消防団経験者(OB)、各地区防災専門員、班長、分団役員経験者、区長、副区長、民生委員、PTA役員、市役所OB(元防災担当)、防災士、地域協議会長、</p> <p>2：専門部会代表者はどのように決定するか ○部会の中で選ぶ、消防士OB(入れ替わりしない)、地域協議会長、区長、</p> <p>3：専門部会の会議はどのように開催するのか(場所、回数、テーマ) ○場所 市役所 ○回数 年4回、2か月に1回、年に机上会議2回+現地見学2回</p>
--

○テーマ 防災訓練、声掛け班、避難所運営

4：市役所に会議へのオブザーバー参加を要請するか

○必要に応じて要請する。

5：予算はどうするか

○自治区予算

6：その他決めておきたいこと

○防災専門部会がない地域自治区は、どのように防災活動をしているか知りたい。

○若い人の防災意識の共有が必要。

○地区と個人と分けて防災備蓄について把握する必要がある。

**<B（つながりのあるまちなか・子育て支援が充実したまちなか）グループ意見>**

団体を立ち上げる以前に何が課題で、何が事業目的なのか、それをまとめてから考えるべきである。まずは課題や事業目的を掘り下げについて話す団体が必要である。

**（2）令和7年度新城地域自治区予算事業計画（案）について**

事務局から事業ごとに事業計画（案）の説明をした。事業計画（案）の内容を建議に向けて進めることを協議会全体で決定した。

（意見）

○にぎわい創出事業（しんしろまちなか映画祭）について、市が主催ではなくて、団体が主となって開催することができるか、それも検討できると感じる。

**（3）市長との意見交換会テーマについて**

以下の意見を設定することとした。

○コンパクトシティについて

○台風時等の内水氾濫について

○新城地域自治区の課題について

**3 その他**

**（1）第9回新城地域協議会日程確認**

9月12日（木）午後7時00分から 市役所4階会議室

**（2）第10回新城地域協議会日程確認**

10月10日（木）午後7時00分から 市役所4階会議室

**4 閉会**